

# 平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業

## 「第5回在宅医療における多職種連携研修会」

テーマ：『地域包括ケアシステムにおける薬局・薬剤師の役割』

- ①電子お薬手帳の活用について
- ②かかりつけ薬剤師、健康サポート薬局の機能について  
～薬剤師の思いと一般住民の意識の乖離～

\*エーザイによる機器紹介 <主に独居で療養している患者への服薬支援>

発表者：沖縄県薬剤師会 常務理事／福寿薬局 薬剤師 笠原 大吾 氏

※ 参加者アンケートの集計結果は別紙をご参照ください。

○日 時：平成31年1月18日（金） 午後7時30分～9時00分

○場 所：那覇市医師会・4階ホール

○参加者：36名

(医師4名、看護師2名、保健師2名、ケアマネージャー8名、薬剤師7名、栄養士2名、社会福祉士1名、その他10名)



司会：長嶺 勝 氏



講師：笠原 大吾 氏



ミニレクチャーの様子



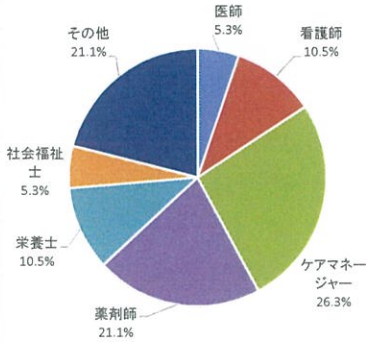
平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業  
第5回在宅医療における多職種連携研修会アンケート集計結果

日時:平成31年1月18日(金) 午後7時30分～9時00分  
場所:那覇市医師会・4階ホール

参加者:36名  
回答者:18名  
回収率:50%

アンケート回答者の職種

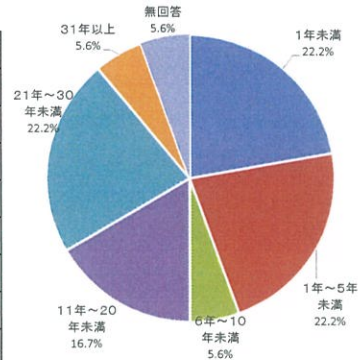
職種	人数	割合
医師	1	5.3%
看護師	2	10.5%
ケアマネージャー	5	26.3%
薬剤師	4	21.1%
栄養士	2	10.5%
社会福祉士	1	5.3%
その他	4	21.1%
合計	19	100.0%



※職種の複数回答により、回答数と相違あり。

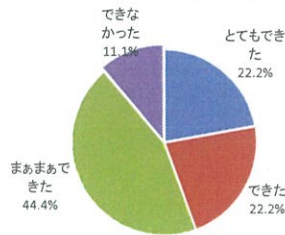
アンケート回答者の経験年数

経験年数	人数	割合
1年未満	4	22.2%
1年～5年未満	4	22.2%
6年～10年未満	1	5.6%
11年～20年未満	3	16.7%
21年～30年未満	4	22.2%
31年以上	1	5.6%
無回答	1	5.6%
合計	18	100.0%



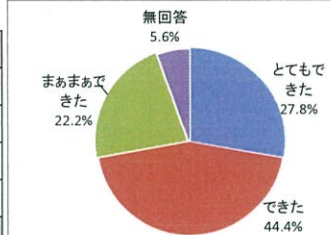
①ご自身の意見を遠慮なく発言することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	4	22.2%
できた	4	22.2%
まあまあできた	8	44.4%
できなかった	2	11.1%
合計	18	100.0%



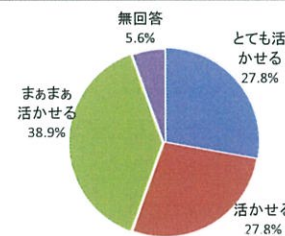
②多職種の状況を理解することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	5	27.8%
できた	8	44.4%
まあまあできた	4	22.2%
無回答	1	5.6%
合計	18	100.0%



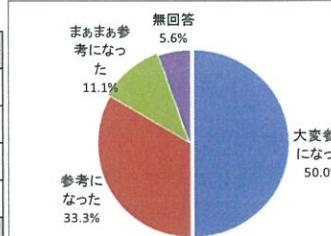
③明日からの業務に活かしますか。

選択肢	人数	割合
とても活かせる	5	27.8%
活かせる	5	27.8%
まあまあ活かせる	7	38.9%
無回答	1	5.6%
合計	18	100.0%



④多職種連携研修会の内容についてのご意見・ご感想。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	9	50.0%
参考になった	6	33.3%
まあまあ参考になった	2	11.1%
無回答	1	5.6%
合計	18	100.0%



- ・医師、看護師、薬剤師とバランス良く配置され、様々な角度から意見を聞くことができ、大変参考になった。
- ・薬剤師の活用ができていなかったため、これからアピールして今後利用者への支援をより良いものにしていきたい。
- ・病棟では直接話をするより書面でのやり取りが多いため、実際薬剤師さんの声を聞いて、大変勉強になった。

- ・薬剤師の役割を知り、今後のケアの中に組み込めるようになった。
- ・薬剤師の役割などは専門職でも知らないことも多いので、周知していった方が良いと思う。
- ・これからどのように関わっていけば良いのか大変勉強になった。
- ・多職種との意見交換をすることで視野を広げることができた。
- ・リアルな意見を聞くことができて大変参考になった。

⑤テーマ:『地域包括ケアシステムにおける薬局・薬剤師の役割』について 発表者:笠原 大吾 氏

- ・今後は週1回薬剤師さんを入れて副作用の早期発見をすることで医療費の抑制になると思われる。
- ・かかりつけ薬剤師について詳しく学べて良かった。
- ・データやニーズに基づいたパワーポイントで大変勉強になった。
- ・服薬のコンプライアンスを高めるために大切なのは服薬のモチベーションを上げること。その為には薬剤師が患者さんにどれだけポジティブメッセージを伝えられるかだと思う。お薬を渡す時はほんの少し愛も一緒に渡してほしい。

平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業  
第5回在宅医療における多職種連携研修会アンケート集計結果

日時:平成31年1月18日(金) 午後7時30分～9時00分

場所:那覇市医師会・4階ホール

参加者:36名  
回答者:18名  
回収率:50%

- ・健康サポート薬局について勉強になった。診療報酬に関係した利点は？
- ・今行なっている活動（かかりつけ薬局・健康サポート薬局・電子お薬手帳など）を知ることができ、大変勉強になった。
- ・薬局や薬剤師における役割などの情報が取れて良かった。

⑥今後、どのようなプログラム(テーマ)があったら参加したいと思いますか？

- ・包括ケアシステムについて
- ・認知症の事例検討
- ・在宅における薬剤師の役割、かかりつけ薬局の具体的な仕事など
- ・各専門職の仕事内容や話を聞いてみたい
- ・医療を中心として地域を支援できることを学びたい
- ・在宅介護での新たな施策（今までにない医療機器などのアプローチ）をディスカッションするプログラムに参加してみたい。
- ・栄養面、お食事の在宅サポート、在宅サポートにおける利用者側からの意見（必要性）について

⑦その他、今回の多職種連携研修会全体を通して、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

- ・今後は人口減少するので、住民の移動が必要と思われる。人口集中化で人的資源を活用する。
- ・多職種の方と交流できて大変勉強になった。



(株)エーザイによる機器紹介



毎日の服薬をサポート「eお薬さん」